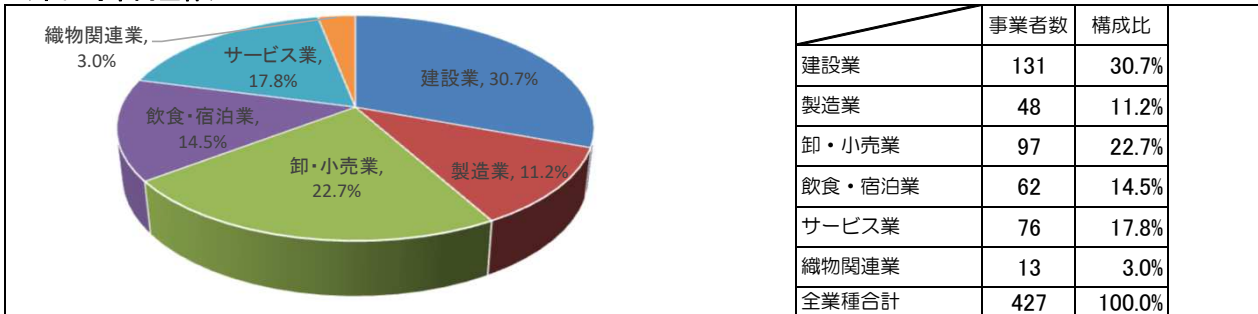


十日町市地域 企業景況調査 第4四半期報告書 (R3.1.1~R3.3.31) 会議所地区

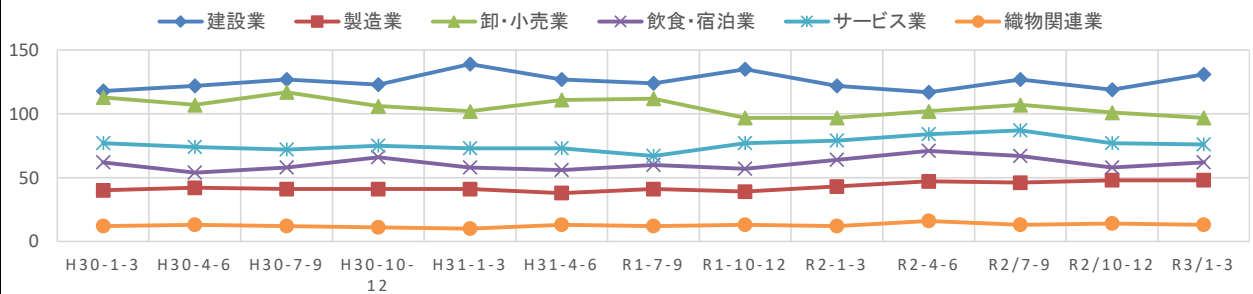
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

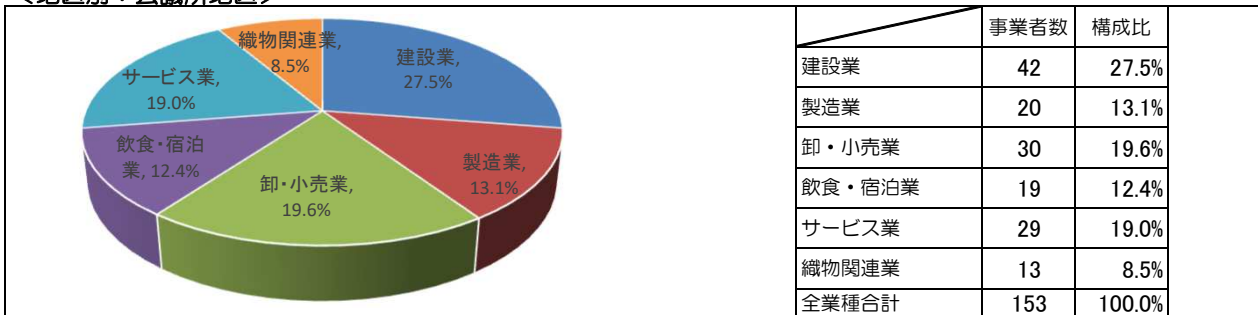


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

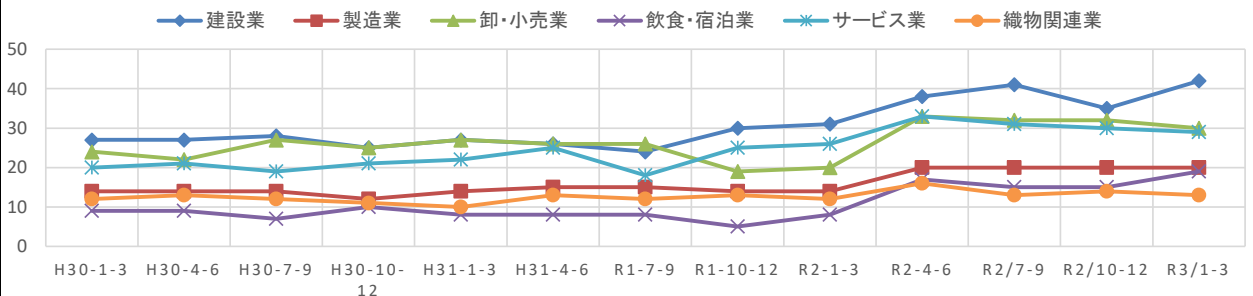


<コメント> 今回の調査は、十日町市内の427事業所から回答を得られ、前回調査よりも10事業所増加している。卸・小売業とサービス業の回答数が若干減少したものの、前回調査時の回答割合と大きな差は無いものとなっている。なお、織物関連業は会議所地区のみが対象としているため、他業種よりもサンプル数が少ない。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

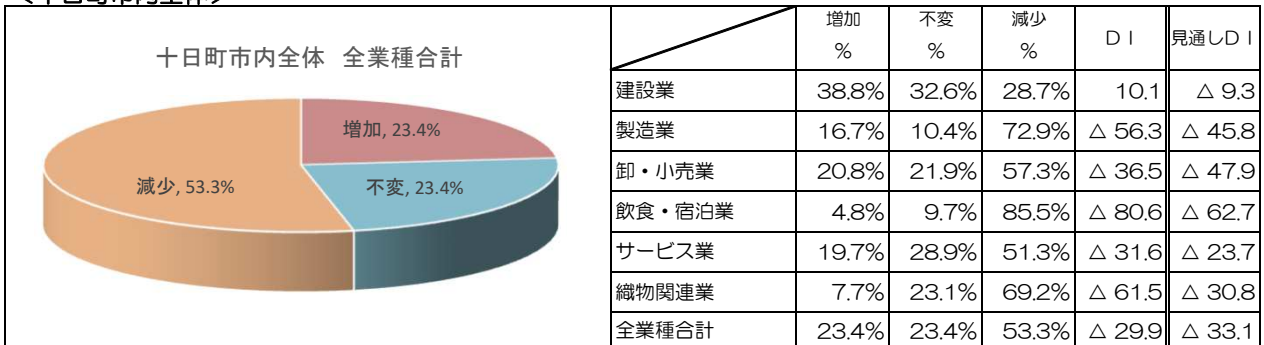
会議所地区の今回の調査回答状況は、配布194事業所のうち153事業所からの回答があり、回収率は78.9%であった。(前回：回答事業所146事業所、回収率72.6%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

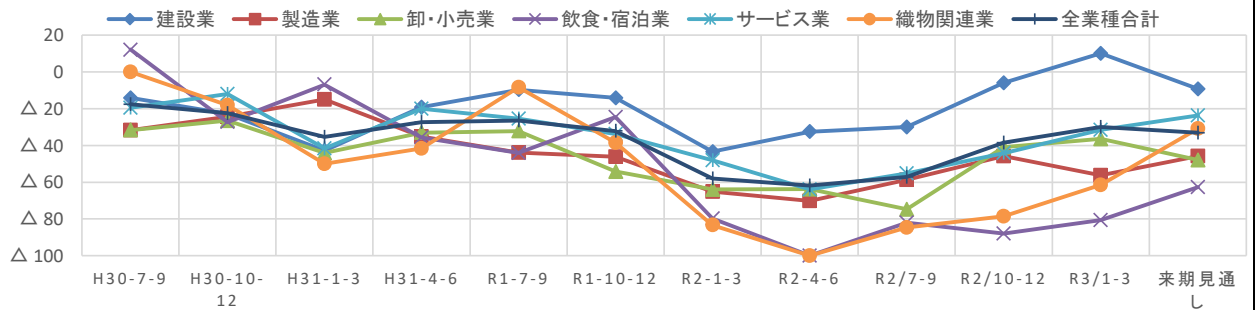
1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

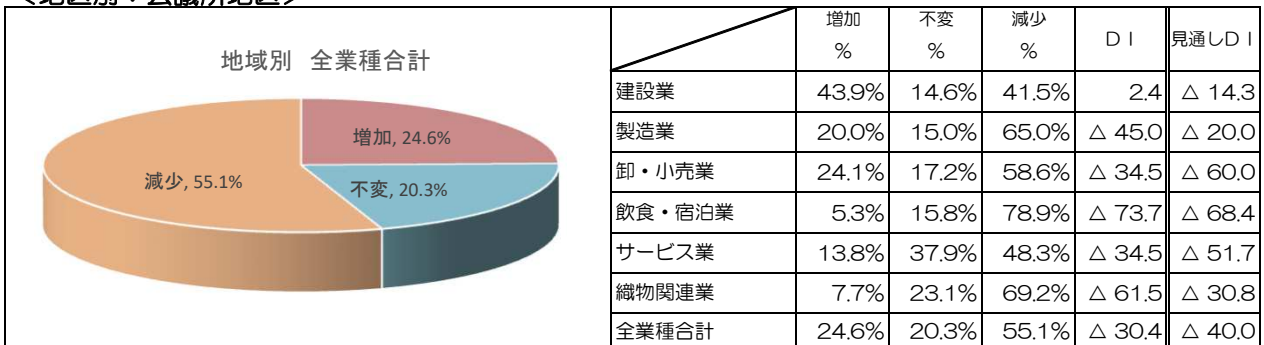


業種別売上の推移(市内全体)

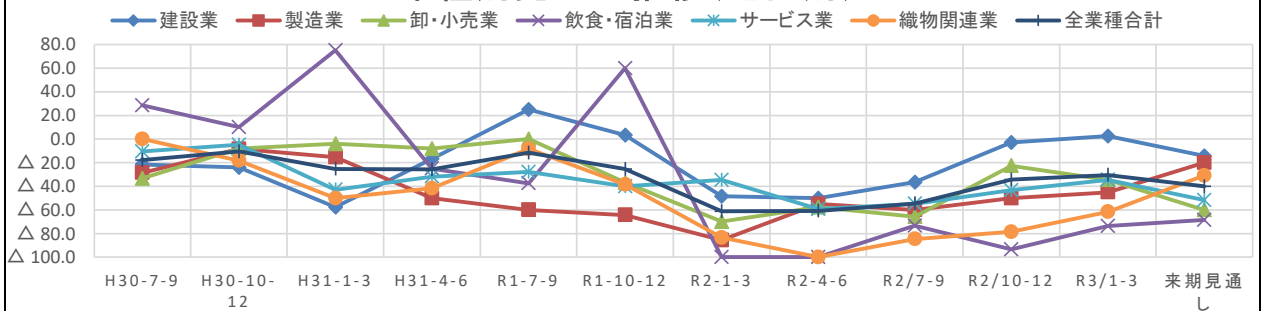


<コメント> 十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△29.9ポイントで、前回調査時よりも8.7ポイント増加となっている。製造業以外の業種にて増加となっており全体の値を引き上げている。来期見通しでは製造業、飲食・宿泊業、サービス業、織物関連業にて増加予測されているが、建設業と卸・小売業にて減少予測があり、全体DI値では今期よりも減少となっている。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移(地区別)

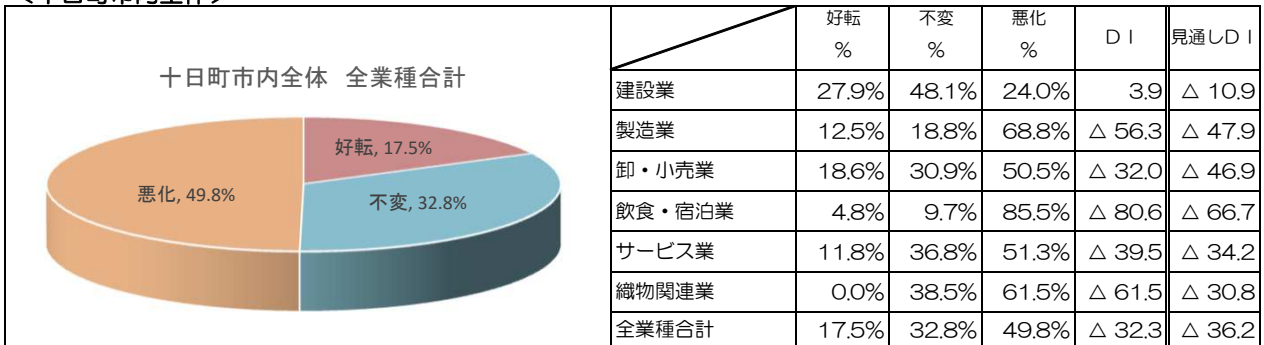


<コメント> 会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△30.4ポイントで、前回調査時よりも4.0ポイント増加となっている。卸・小売業以外の業種全てが増加となっている。来期見通しでは製造業、飲食・宿泊業、織物関連業にて増加予測されているが、建設業と卸・小売業、サービス業にて減少予測があり、全体DI値では今期よりも減少となっている。

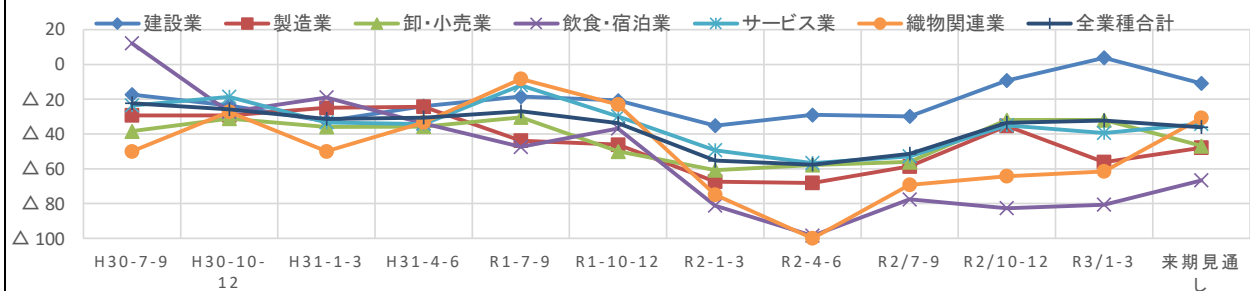
2. 採算について

- ・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

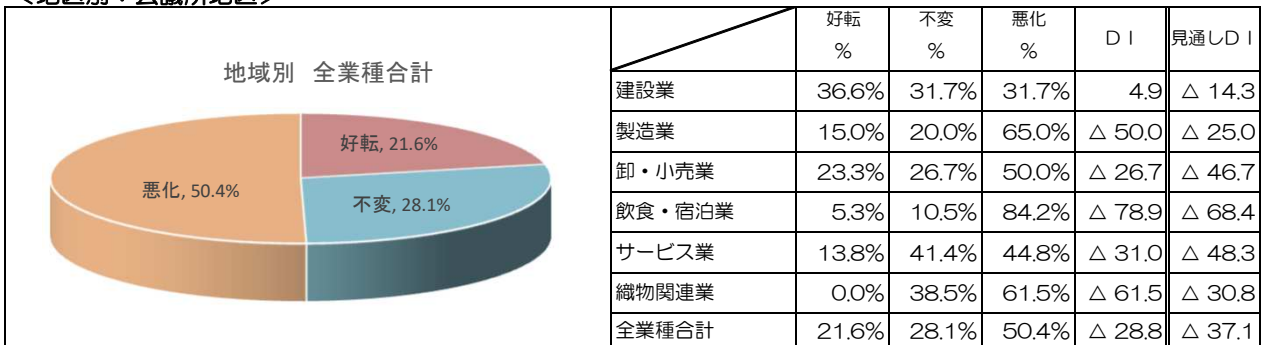


業種別採算の推移(市内全体)

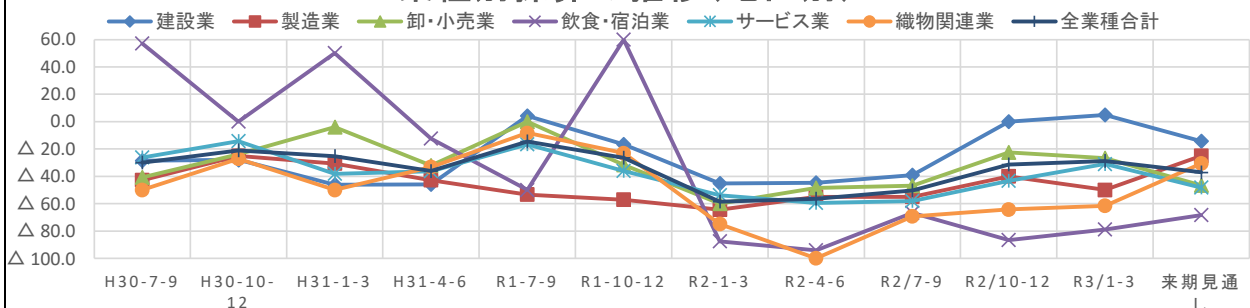


<コメント> 十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△32.3ポイントで、前回調査時よりも1.3ポイント好転している。製造業とサービス業にて悪化となっているが、建設業と飲食・宿泊業の好転により全業種DIの値となっている。来期見通しでは、建設業と卸・小売業にて今期よりも悪化予測されているが、その他の業種で好転予測があり、全業種で見た場合は大きな変化は無いものと思われる。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)

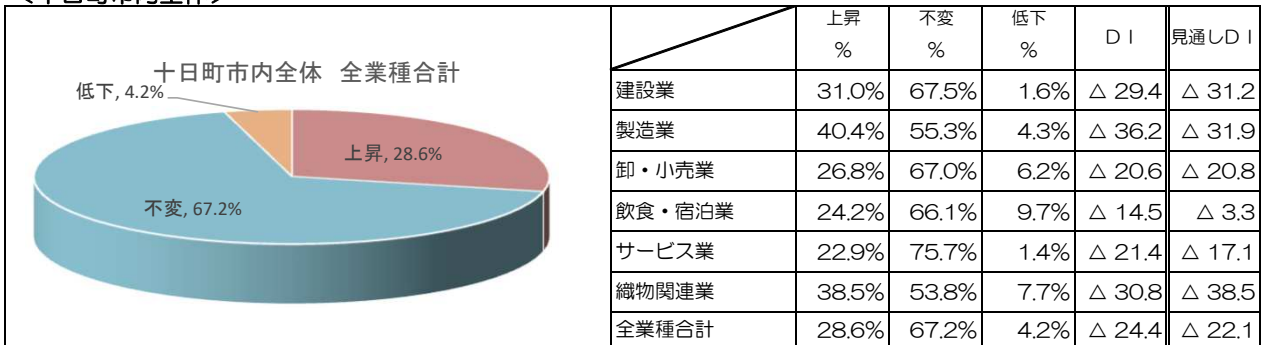


<コメント> 会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△28.8ポイントで、前回調査時よりも2.5ポイント好転している。業種別に見ると、製造業（前期比△10.0ポイント）と卸・小売業（△4.1ポイント）が悪化したが、その他の業種は好転している。来期見通しにおいては、建設業、卸・小売業、サービス業で今期よりも悪化予測されているが、その他の業種は好転予測されている。

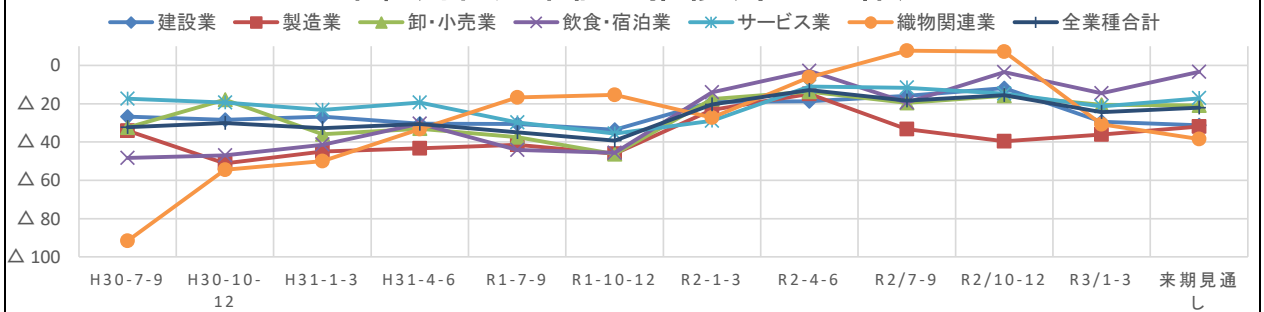
3. 仕入単価について

- ・ 1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

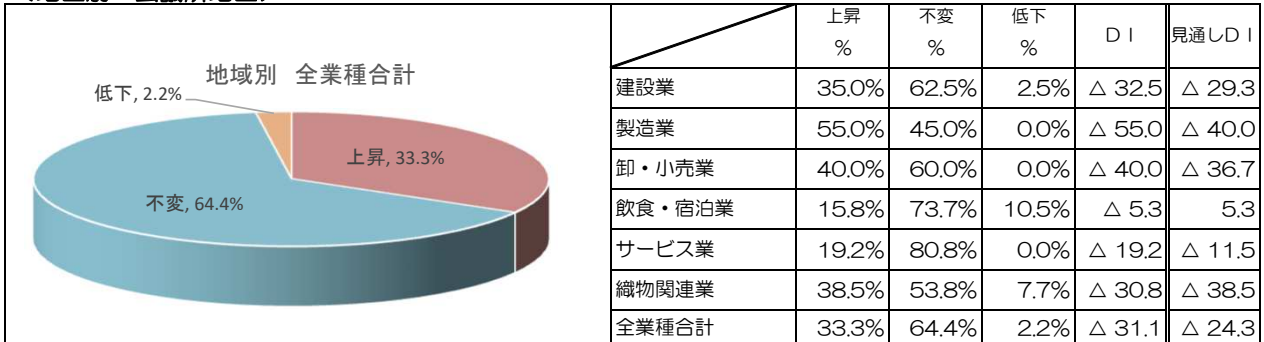


業種別仕入単価の推移(市内全体)

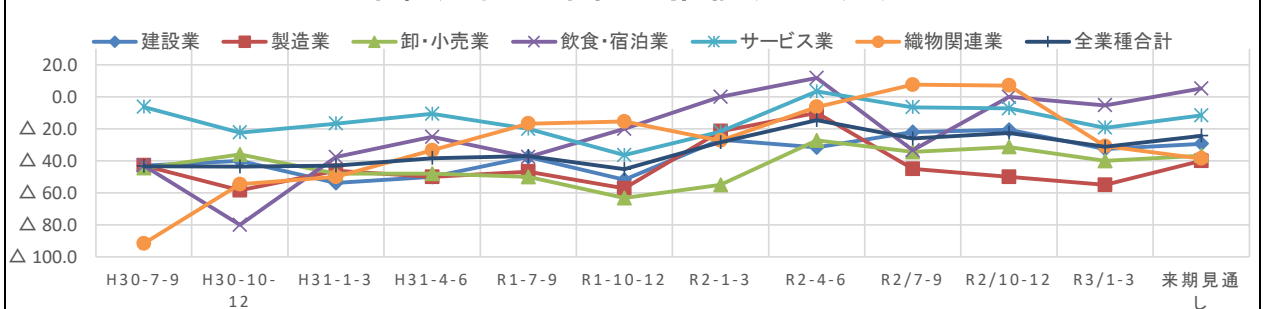


<コメント> 十日町市内全体の今期の仕入単価の状況は、全業種DI値で△24.4ポイントで、前回調査時よりも8.9ポイント上昇している。製造業にて低下が見られたものの、その他の業種は上昇となっている。ただし、不変回答が半数以上を占めていることから、大きな変動は無いものと推測したい。来期見通しにおいても今期と大きな変動は無いものと思われる。

<地区別：会議所地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

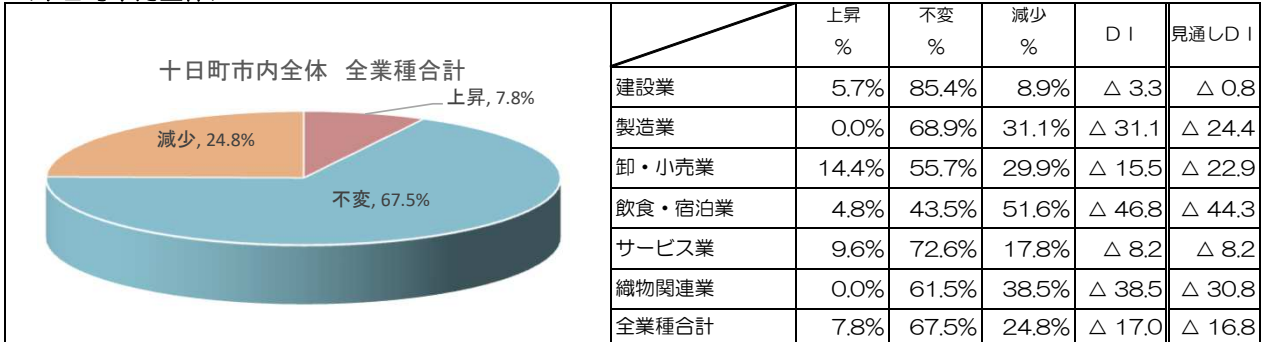


<コメント> 会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△31.1ポイント（前期比△8.6ポイント）であり、全業種にて単価上昇が見られた。来期見通しにおいては、織物関連業で単価上昇予測されているが、その他の業種では低下予測されている。

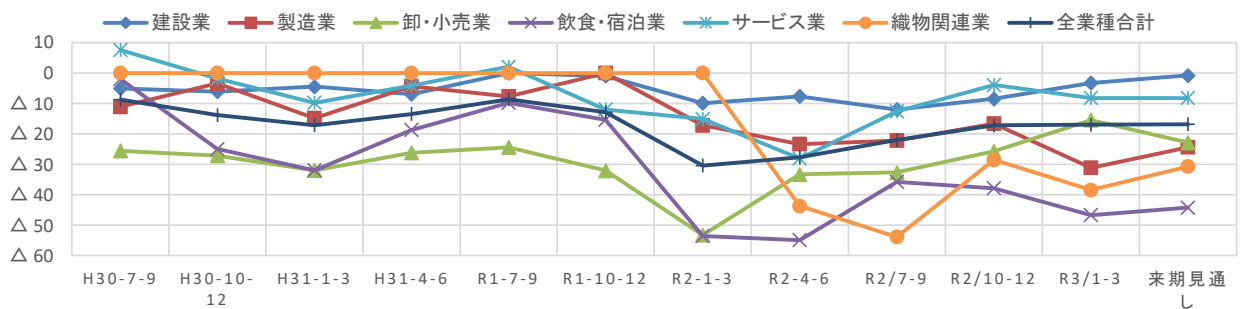
4. 販売（客）単価について

- ・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

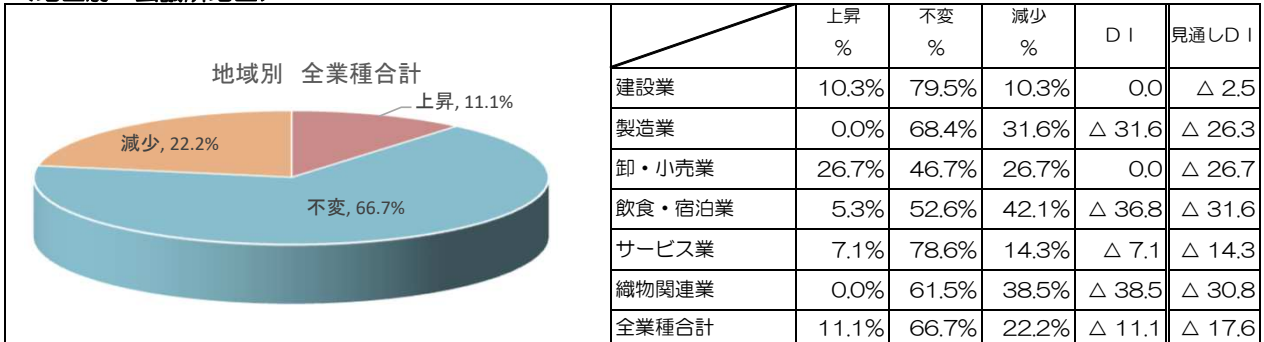


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

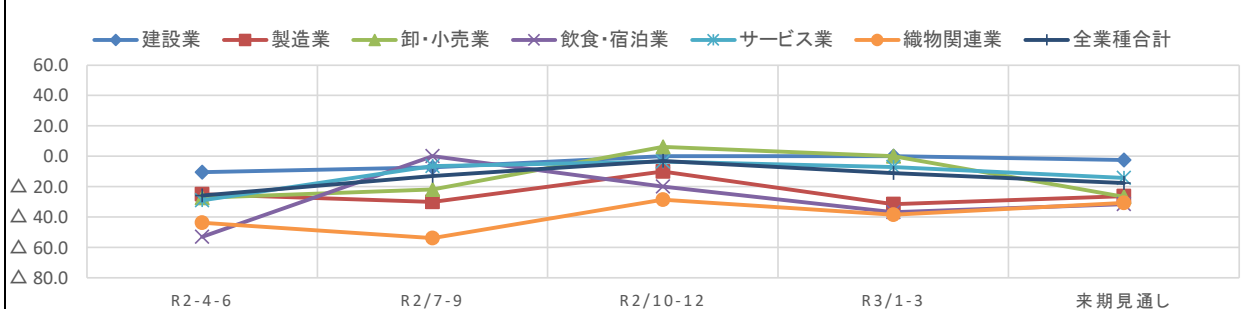


<コメント> 十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△17.0ポイントで、前回調査時から0.2ポイント上昇している。製造業、飲食・宿泊業、サービス業、織物関連業にて減少が見られるが、建設業と卸・小売業にて上昇があり、全業種では前回調査時とほぼ同様の数値となっている。来期見通しにおいても、大きな変動は無いものと思われる。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

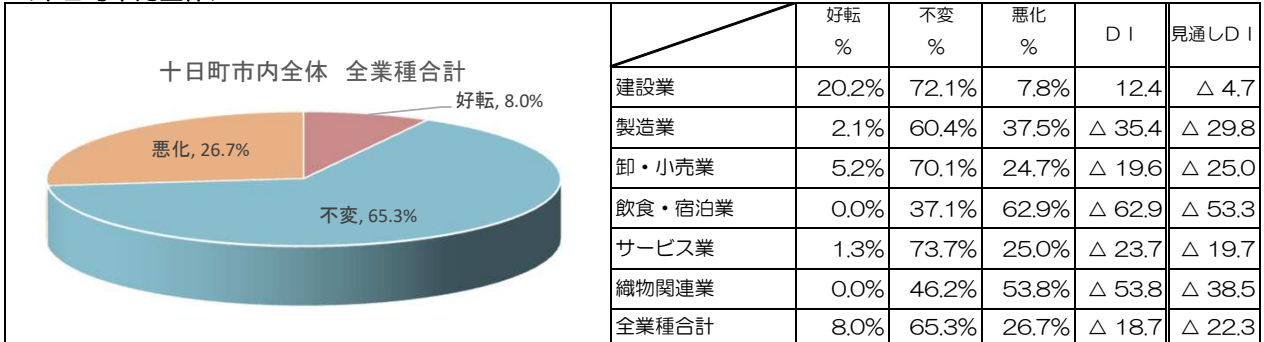


<コメント> 会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値で△11.1ポイント（前期比△8.0ポイント）であった。業種別に見ると、建設業は前回から横ばい、その他の業種では単価の低下が見られた。来期見通しにおいては、建設業、卸・小売業、サービス業が単価低下予測、その他の業種では上昇予測されている。※会議所地区では、R2.4-6月期から販売（客）単価の状況について項目を設けた。

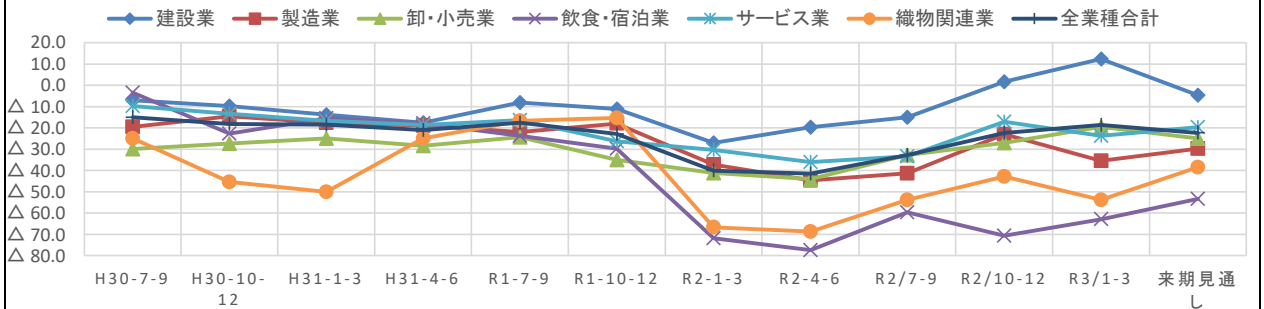
5. 資金繰りについて

- ・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

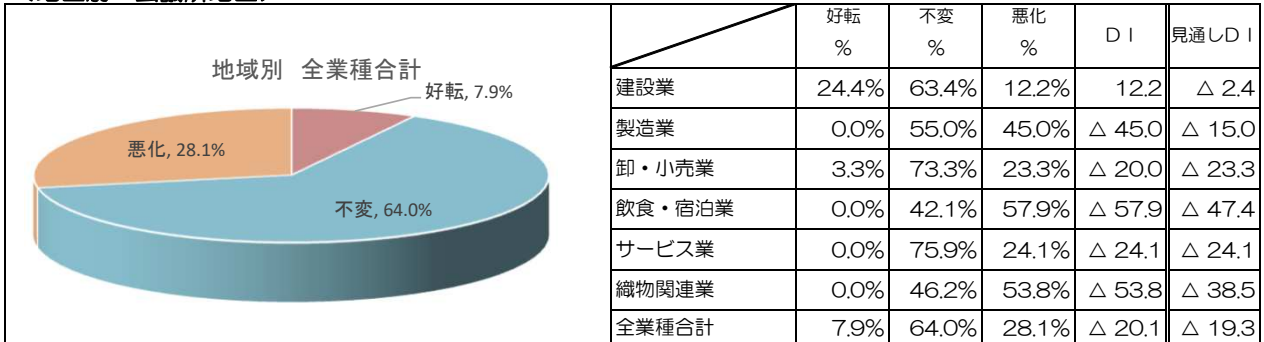


業種別資金繰りの推移(市内全体)

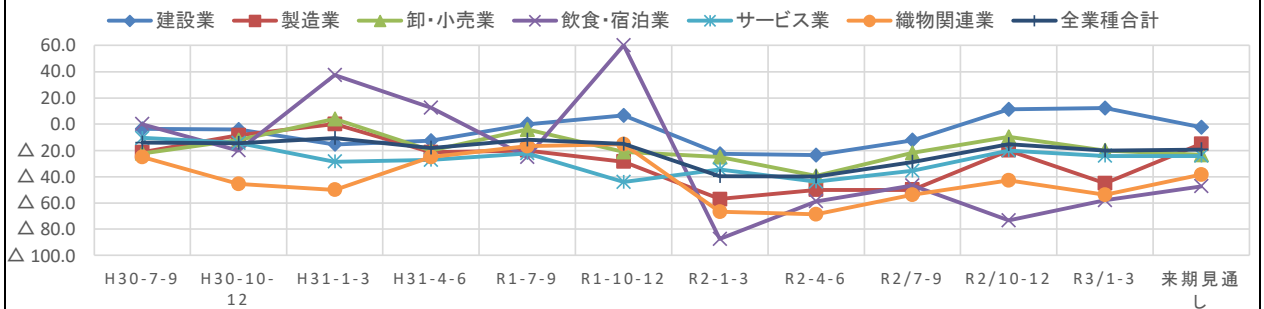


<コメント> 十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種D I値で△18.7ポイントで、前回調査時よりも3.7ポイント好転している。製造業、サービス業、織物関連業にて悪化しているが、その他の業種で好転している。来期見通しでは建設業と卸・小売業で悪化予測があるものの、その他の業種は今期よりも好転予測があり、全業種では大きな変動は無いものと思われる。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

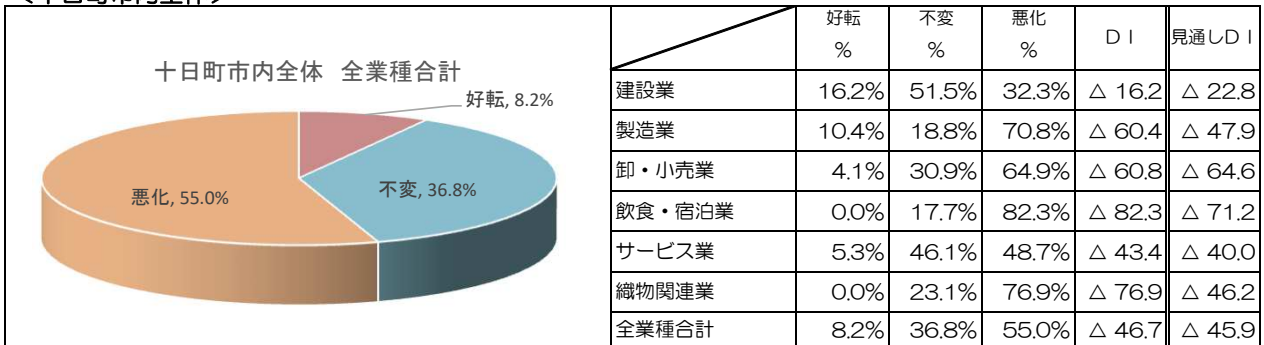


<コメント> 会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種D I値で△20.1ポイントで、前回調査時よりも4.8ポイント悪化している。業種別に見ると、飲食・宿泊業が△57.9ポイント（前期比15.4ポイント増）で好転はしているものの、依然厳しい状況と推測できる。来期見通しにおいては、建設業と卸・小売業で悪化予測されているが、サービス業が横ばい、その他の業種では好転予測されている。

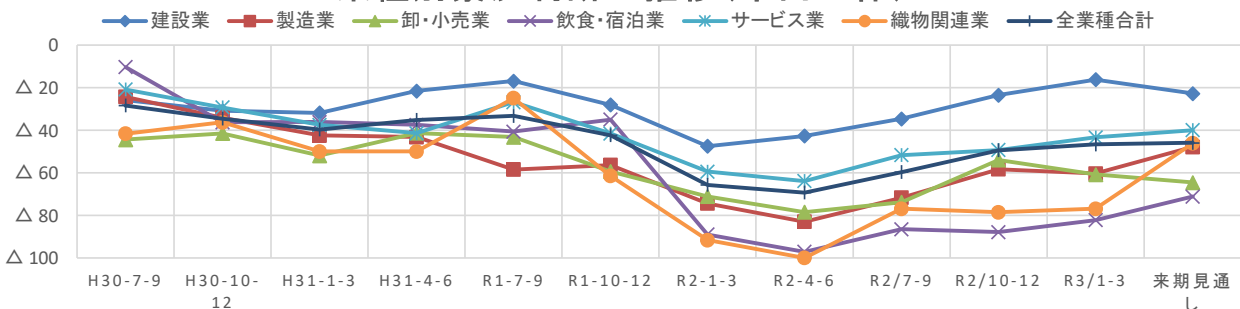
6. 景況判断について

- ・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

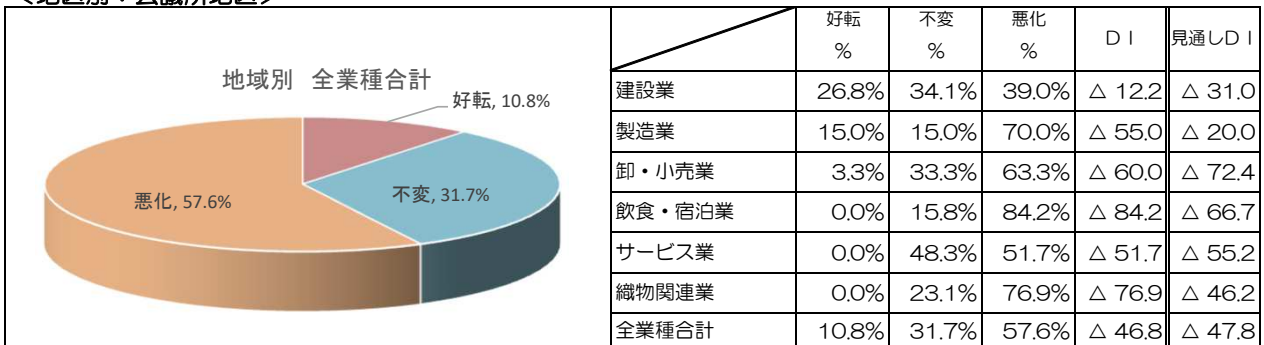


業種別景況判断の推移(市内全体)

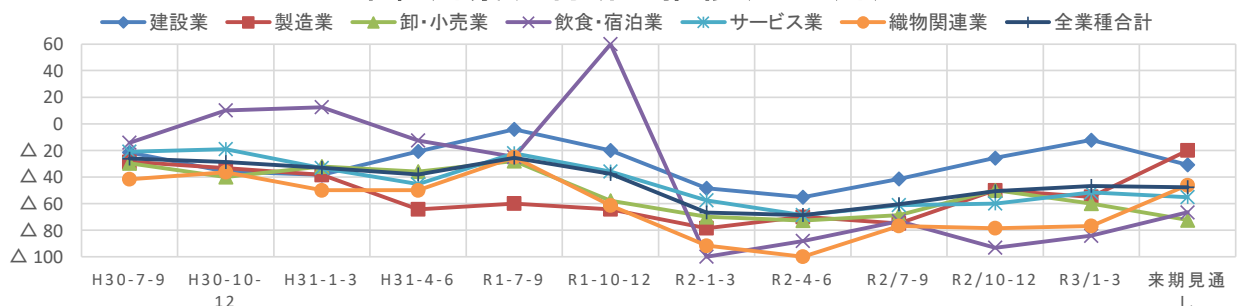


<コメント> 十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△46.7ポイントで、前回調査時よりも2.8ポイント好転となっている。製造業と卸・小売業で悪化となっているが、その他の業種は好転を示している。来期見通しは、建設業と卸・小売業で今期よりも悪化予測されているものの、その他の業種で好転予測されており、全業種では若干の好転予測となっている。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

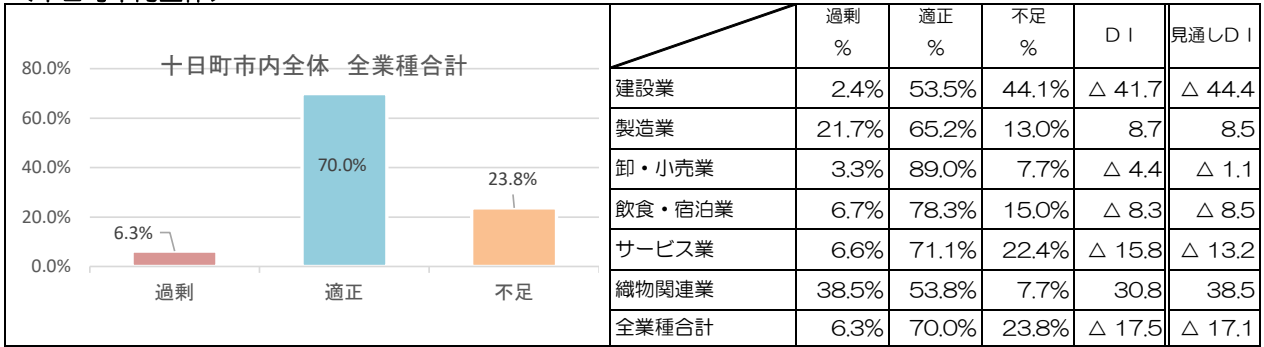


<コメント> 会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値で△46.8ポイント（前期比4.0ポイント増）と改善した。業種別に見ると、卸・小売業が△60.0ポイント（前期比△10.0ポイント）、製造業が△55.0ポイント（前期比△5.0ポイント）と悪化した。他の業種では好転している。来期見通しにおいては、製造業、飲食・宿泊業、織物関連業で好転予測されているが、その他の業種では悪化予測されている。

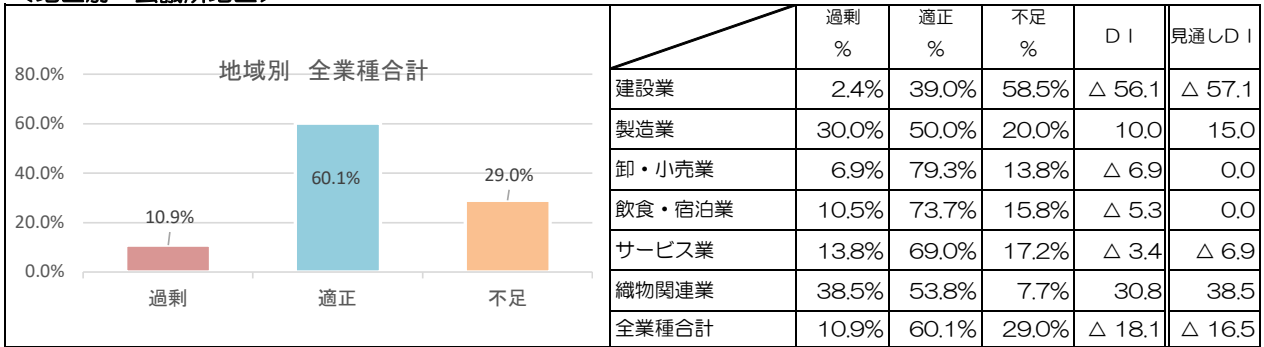
7. 従業員数について

- ・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



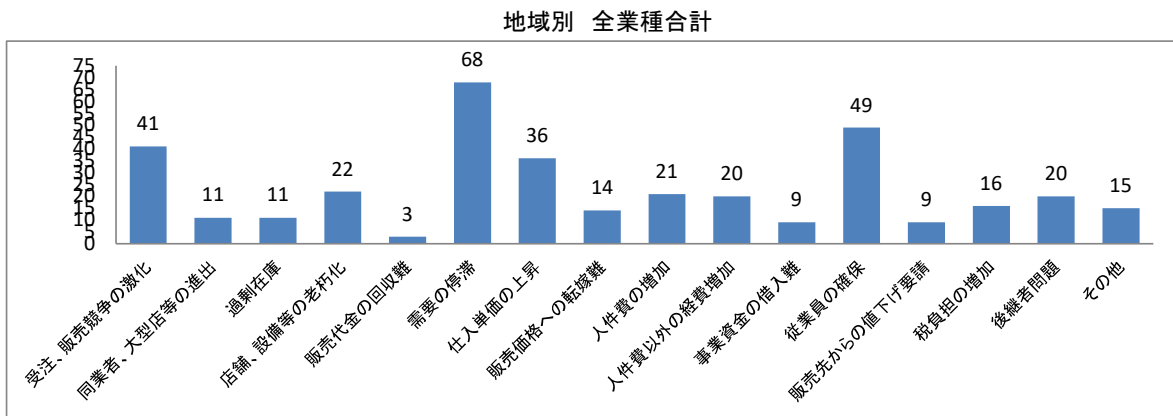
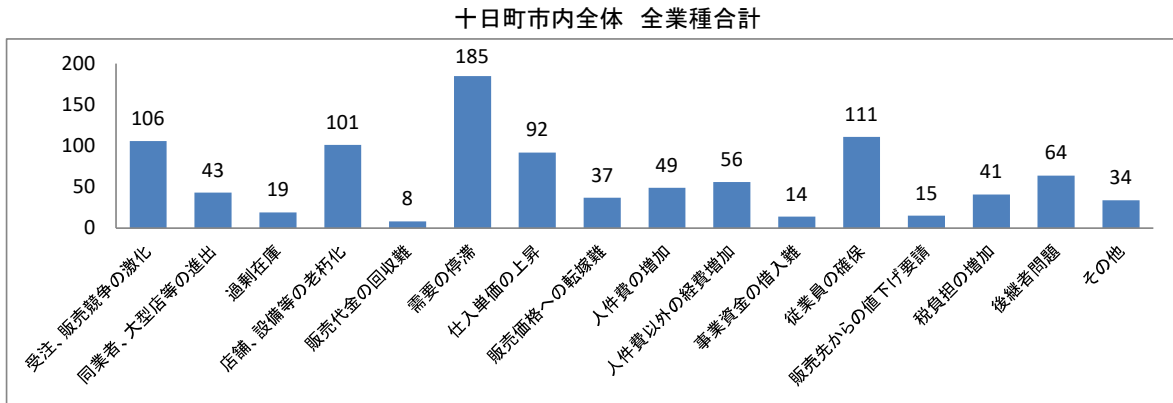
<地区別：会議所地区>



<コメント>

今期の従業員数（雇用動向）は、過剰回答が1.8%、不足回答が1.6%前回調査時よりも増えている。会議所地区の状況は、全業種合計においては適正回答が一番多いものの、建設業の6割近くが不足と回答している。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：1月～3月



<コメント> 今回調査での経営上の問題点は、3位と4位の順序が変わったが、1位から4位までの内容は同じであった。5位の「仕入単価の上昇」が前回調査時よりも急激に多くなっている。会議所地区の経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「従業員の確保」3位が「受注、販売競争の激化」と、1位から3位までは前回同様であったが、4位が「仕入単価の上昇」となった。市内全体の状況と同じく、「仕入単価の上昇」が急激に多くなっている。

9. 地区の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

<p>【建設業】 今期の建設業の状況は、販売単価は前期から横ばい、仕入単価は上昇しているが、売上や採算は好転している。大雪による結果と推測できる。来期見通しにおいては、全ての項目で悪化予測されている。経営上の問題点では「従業員の確保」が一番多く回答されており、6割近くが従業員不足としている。</p>
<p>【製造業】 今期の製造業の状況は、売上においてポイントが上昇したが、その他の項目は減少している。来期見通しにおいては、全ての項目で好転予測されている。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されており、続いて「仕入単価の上昇」「受注、販売競争の激化」の順に多く回答されている。</p>
<p>【卸・小売業】 今期の卸・小売業の状況は、全ての項目でポイントが減少している。来期見通しにおいては、仕入単価のポイント上昇予測（仕入単価の減少予測）がされているが、その他の項目では悪化予測がされている。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 今期の飲食・宿泊業の状況は、仕入単価と販売単価のポイントが減少したが、その他の項目はポイントが上昇している。来期見通しにおいては、全ての項目で好転予測されているが、調査直後に新型コロナの飲食関連の感染者が増加し、大きな影響が出ている。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>
<p>【サービス業】 今期のサービス業の状況は売上や採算のポイントが上昇しているが、来期見通しにおいては同項目で悪化予測されている。経営上の問題点では「需要の停滞」が一番多く回答されており、続いて「後継者問題」「税負担の増加」の順に多く回答されている。</p>
<p>【織物関連業】 今期の織物関連業の状況は、売上と採算のポイントが上昇している。来期見通しにおいては、売上や採算、資金繰り、販売単価で好転予測されており、実際の数値に注視したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>